



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年3月11日 No.30

3月は日本では「弥生」とも言われます。語源としては、3月になると少しずつ春が近づきはじめ、冬の間、縮こまっていたたくさんの花や木草が一斉に成長する月なので「木草（きくさ）弥（いや）生（お）い茂る月」が「弥生（やよい）」と詰まって呼ばれるようになったといわれる説が有力です。

実際のところ「弥生（やよい）」は、旧暦では現在の3月下旬から5月下旬を指していたようで、旧暦と新暦の違いで起こるちょっとした季節のズレがあるようです。

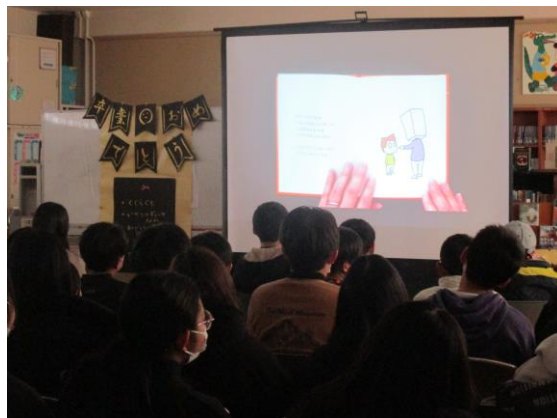
もうすぐ卒業式。6年生は小学校生活の集大成に向けて練習に集中しています。1年生から5年生も、新しい学年に向けてこの1年間の総まとめを一生懸命行っています。この1年間で成長した子どもたちの姿を振り返り、頼もしくまたほほえましく思っています。



読み聞かせボランティアの皆さんありがとうございました

3月1日(金)に読み聞かせボランティアの方々から6年生への卒業のお祝いに、ボランティアの皆さんが選んだ5冊の絵本を読んで聞かせていただきました。

選んでいただいた絵本は、今の子どもたちの心に寄添う聴きごたえのある絵本でした。あるボランティアの方から「絵本は、小さい子が読む本と思っている子もいるかもしれないけれど、中学生でも、大人になってからでも読み返してもいいんだよ。その時々心の状態によって感じ方も違うし、そこから新たな学びもあるんだよ。だから今後も本を手にとってほしい。」とのあたたかいお言葉をいただきました。今後、子どもたちが本に興味を持つきっかけになるといいなと思うと同時に、様々な面で地域の方々に支えられているんだなと実感できる、心あたたまる時間となりました。



コンクールで学校賞をいただきました

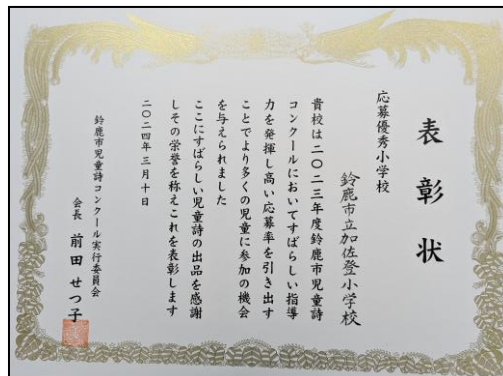
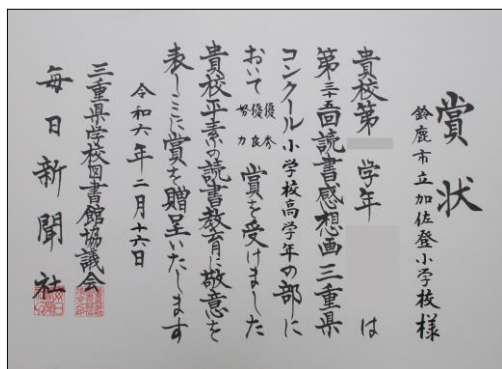
子どもたちが授業や長期休業日の時に課された宿題などで描いた絵や書道の作品などの学習の成果をいろいろなコンクールやコンテストに出品しています。

今回、読書感想画三重県コンクールと鈴鹿市児童詩コンクールにおいて学校賞をいただきました。

読書感想画コンクールでは、優秀賞1点、優良賞1点、努力賞2点が選ばれました。

児童詩コンクールでは、教育長賞1点、優秀賞2点、入選2点、佳作8点が選ばれました。

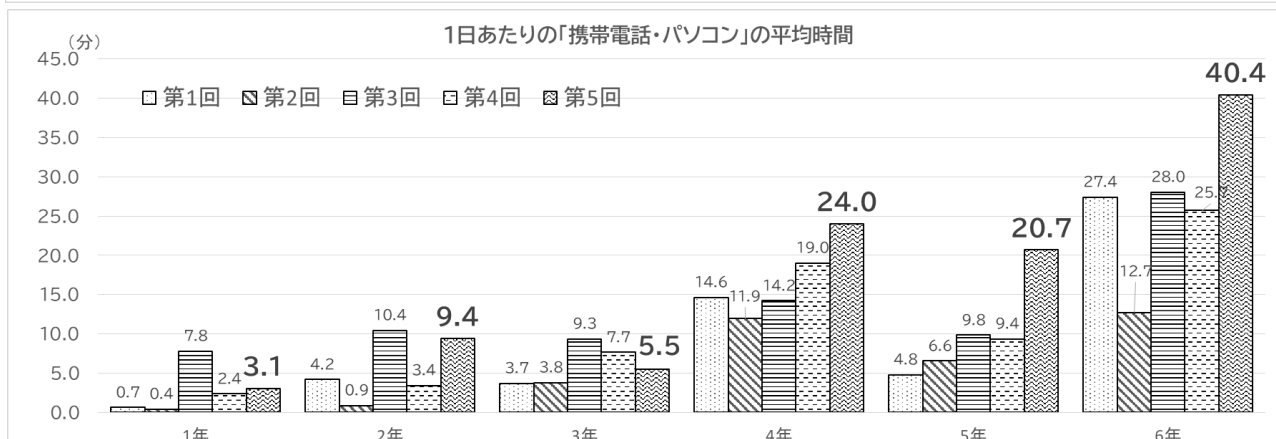
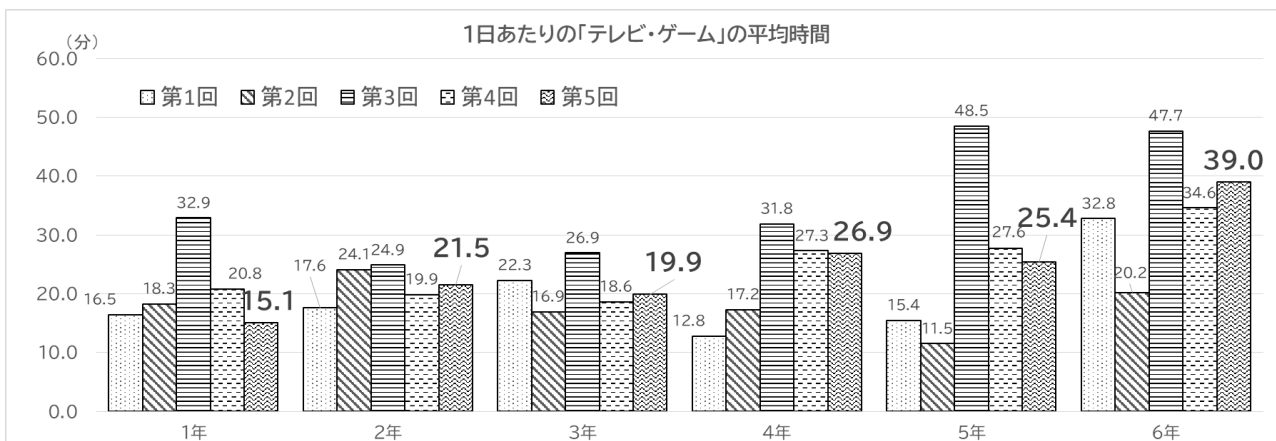
表彰された子どもたちはもちろん、今回表彰されなかった子どもたちにもとても励みになります。教員にとっては、子どもたちが表彰されることはもちろんうれしいことですが、結果だけにこだわるのではなく、加佐登小の子どもたちひとりひとりが様々な経験を積む中で、前向きに素直にがんばっている姿を見ることができることが一番の励みです。

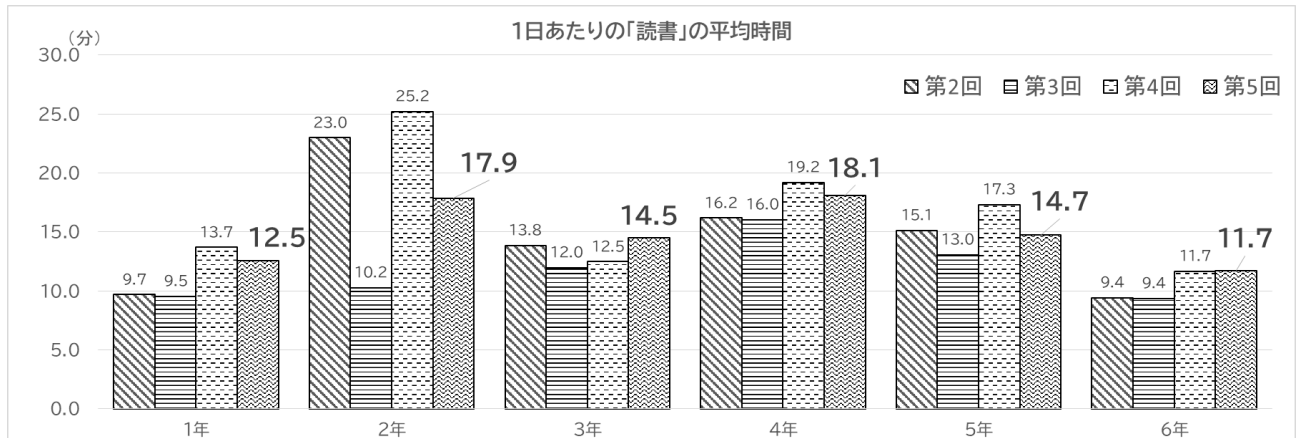
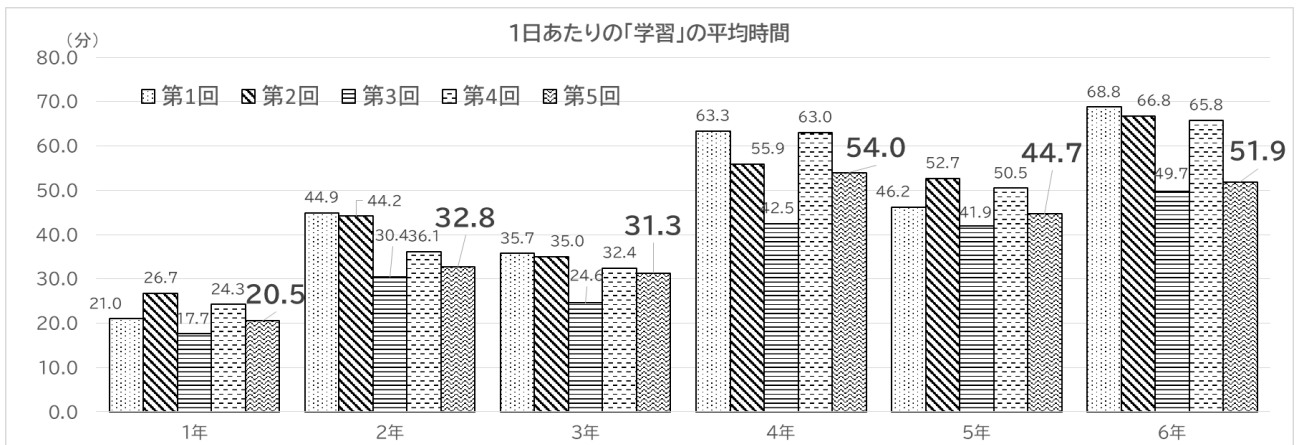


第5回ノーメディアデーへの取組、ありがとうございました

2月25日(日)から2月27日(火)まで、5回目となるノーメディアデーにご協力いただきありがとうございました。結果の集計ができましたのでお知らせします。

全体の傾向としては、1日あたりの「携帯電話・パソコン」の平均時間が回数を追うごとに増加傾向にありました。また、1日あたりの「学習」「読書」の平均時間は回数を追うごとに減少傾向にありました。





今回、「携帯電話・パソコン」に触れずに3日間過ごした児童は、全体の49.4%（第4回は59.7%）でした。また、「テレビ・ゲーム」に触れずに3日間過ごした児童は、全体の33.3%（第4回は36.0%）。「携帯電話・パソコン」「テレビ・ゲーム」どちらにも触れずに3日間過ごした児童は全体の19.3%（第4回は24.6%）でした。

現代社会では、スマートフォン等のネットワークに接続できるメディア機器の利用が生活の一部となってきているため、1日の中で全くメディア機器に触れずに生活を送ることの方が難しくなっている現状があります。

子どもたちにはメディア機器に支配されることなく、主体的かつ自律的にメディア機器に関わり、リテラシー*を向上させることが必要になってきています。学校では、全学年において子どもの発達段階に応じてChromebookを活用し、メディア（Chromebook）機器活用のための技能の習得や情報モラルなどについても学習を進めているところです。また、「よむYOMUワークシート」など、新聞記事の一部を読んで、そこから得られる情報を適正に判断し、どのように取捨選択して、自分に必要な情報を取り入れていくかなどの学習も行ってきました。ご家庭におかれましても、特にメディア機器やネットワークなどの使用についてお子様とよく話し合っ使い方のルールを決めていただくとともに、最新の情報に対してアンテナを高くしていただき、子どもたちがメディアを正しく便利に使えるようにご協力のほどをよろしくお願いいたします。

※ リテラシー

語源は「literacy」。「読み書きする能力」を意味する。一般的には、「ある特定分野に関する知識を理解して、活用する能力」として使われています。

メディアリテラシーとは、メディア（情報伝達の媒介となるもの）を理解して、正しく活用する能力を意味します。

第5回ノーメディアデー保護者様の声

- ・ 週末は、家族で映画を観るのですが、今回は天気も悪かったので、買い物に行きました。あまりイオンモールなどに長時間いることがないのでとてもうれしそうでした。今回はかなり厳しい目標を決めて取り組んでいました。家族でメディアに触れずに過ごす方法を考える時間はとても良いと思いますが、上手くメディアを付き合い合っていく方法もしっかりと話していきたいと思います。
- ・ 図書の本と一緒に見よう！と声掛けしてきて読書に取り組んでいた。
- ・ すごい集中力で段ボール工作をして、とても素敵な作品ができていました。
兄弟でけんかしつつも仲良くベビーカステラ作りをしたり、あっという間の3日間でした。骨折で友だちと遊べなくて1人で過ごす時間が多く、1人で散歩したり、1人で”かくれんぼ”や”おにごっこ”しているという理解しがたいおもしろいエピソードもありました。
- ・ テレビがついていないと静かで会話がはずみました。そういう時間大事ですね！
- ・ ノーメディアということを自分で意識してスマホやTVゲームをしないように気を付けていました。
- ・ ノーメディアデーは終わりましたが、メディアと関わる時間についてこれからも考えて生活してほしいと思いました。
- ・ ノーメディアデーのため、YouTubeの時間は意識的に減らそうとしていたと思います。最近はLINEを使うようになり便利な反面心配もあります。携帯電話に支配されないように今後も気を付けるようにしたいです。
- ・ 自分でテレビを見る時間をコントロールしていたと思います。最近は、読書もしています。テレビで外国のことを見た後で、その国がどこにあるか世界地図で確認していたり、よいと思います。
- ・ 最初は「ヒマだヒマだ」と言っていたが、何分かすると妹と2人で遊びだしてすごく良い取り組みだと思いました。

第1回から第5回まで、保護者の皆様からさまざまな声をいただき、学校でも職員間で共有させていただきました。ご家族総出でご協力いただいたご家庭もあり、本当にありがとうございました。来年度もご協力のほどよろしくお願いします。

卒業式まであとわずか

3月19日(火)の卒業式まで、あとわずかとなりました。

6年生は、毎日練習を行っています。呼名練習では恥ずかしがることなく大きな声で返事ができるようになりました。起立の時の姿勢や座るときの所作など、練習を始めたときより、引き締まったものとなってきました。呼びかけでは、1人ひとりが6年間の思いを言葉に込め、みんなの思い出を振り返るとともに保護者や地域の皆様などお世話になった方々への感謝を伝えられるように一生懸命練習しています。11日(月)からは5年生と6年生の合同練習が始まりました。

これから式本番に向け、さらに気持ちが盛り上がってくると思います。本番では練習以上のことはできません。練習の時こそ、本番の時の緊張感を持って練習に臨んでいきま



6年生は、自ら式のための準備をしました

よう。あと数日、みんなでいい卒業式を創っていきましょう。応援しています。



薬物乱用防止教室を行いました

3月7日(木)に、6年生で学校薬剤師の先生をお招きして、養護の先生と一緒に薬物乱用防止教室を行いました。この授業では、薬について正しい知識を身に付けるとともに危険な薬物から身を守る知恵を学ぶことを目的としています。薬剤師の先生からは、「薬物は都会など遠いところのお話ではなく身近なところの話かもしれない。」ことや、「依存性があって1回使ってしまうとやめられなくなってしまう。」と教えていただきました。また、養護の先生からは、「身近な人から勧められても絶対しない。と断る勇気を持つように。」と教えていただきました。子どもたちは授業を受けて、「薬物が危険なことがとてもよく分かった」や「薬は使い方によっていいものにもなるし、よくないものにもなることを初めて知った」、「普通の医薬品でも、一度に大量に服用すると、麻薬と同じ効果があると初めて知ったので気を付けたい。」など、授業で教えていただいたことを振り返っていました。



中学校は小学校とどう違うの？

3月8日(金)、6年生が白鳥中学校の2人の先生をお招きして、4月から始まる中学校生活について教えていただきました。

はじめに、中学校英語の授業を体験しました。時折ユーモアも交えながら楽しく学べる内容で、中学校での授業の様子を知ることができました。

中学校生活については、事前アンケートから質問の多かった内容についてていねいに説明をしていただきました。中学校では教科ごとに先生が変わる(教科担任制)こと、学期に1~2回の定期テストがあること、放課後部活動があること、自転車通学になることなど、小学校とは大きく変わるところがたくさんあります。

子どもたちは、授業体験ができ、一通り説明を聞いた後に疑問に思ったことを中学校の先生方に質問していました。授業の最後に中学校からプレゼント(課題)もいただき、いよいよ中学生になるという実感がわいてきたと思います。4月からの中学校生活が楽しみです。

